QUESTION ROOM

家庭菜園相談室

今月のテーマ

「お鍋や温野菜などに欠かせない冬野菜の王様！」～ハクサイ～

繊維の柔らかさと淡泊な味で、最近ではミニ種や生食用品種も増えてきています。あく抜きもなく手軽に使えて、炒め物・鍋物・漬物に最適です。韓国ではキムチに不可欠なことで有名ですね。

図1　作型目安

		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
ハクサイ	早生	●―	―▲―	―	―	■ ■ ■		
	中晩生		●― ―▲	―	―	― 結束 ―	― ■ ■	■ ■

●種まき　▲植え付け　■収穫　※同じ作型（早生･晩生など）でも品種により収穫時期などが異なるためラベルをよく確認する

●栽培特性

・冷涼な気候を好み、生育適温は15～20℃で、比較的適温の幅が狭く、キャベツなどに比べるとまき時は限定されます。
・根こぶ病・軟腐病などの土壌病害が出やすいので、3～4年の輪作を心がけることが重要です。
・過湿は避け、畑の排水を良くして栽培することが大切です。
・結球には、外葉で17～20枚、全体で55～90枚程度の葉が必要であり、低温に入る前にこの葉数を確保するよう生育を促進します。

●栽培のポイント

・夏の育苗作業は管理が難しいので、JAの直売所やホームセンターで苗を買い求めたほうが良いでしょう。
・株間を広く取り、外葉を大きく育てると大きな球になります。
・結球ハクサイは、葉菜類の中でも特に病虫害の発生が多いので、地域や品種にあった適期播種、輪作、排水対策、病虫害対策をしっかり行うことが大切です。

畑の準備	植え付けの2週間前に苦土石灰100㌘/㎡と完熟たい肥1㌔/㎡をまき、深さ30㌢位までよく耕します。植え付けの1週間前には化成肥料（畑作名人 N:P:K=13:13:13）100㌘/㎡を施し全体によく混ぜます。
連輪作	アブラナ科(キャベツ･ブロッコリーなど)の連作をすると根こぶ病が発生しやすくなるので、連作は避けましょう。3～4年以上の輪作をすると良いです。
栽植密度	畝幅60～70㌢、株間40～50㌢、畝高15～20㌢の畝を立てます（水はけの悪い畑では高畝にします）。マルチを敷く場合は、シルバーマルチを使うとアブラムシ除けに効果があります。
植え付け	葉数が5～6枚の苗を植え付けます。根鉢を崩さないように植え付け、株元にたっぷり水をやります。植え付け後は、防虫ネットのトンネルをかけます。
追肥・土寄せ	定植後2週間ほどして本葉8～9枚の頃に中耕と1回目の追肥(野菜の達人30㌘/㎡)をします。 2回目は、定植から30～40日後頃（本葉15～20枚頃）に中耕と土寄せを兼ねて行います。苗が小さいときは株のまわりに、大きくなってからは畝の肩に肥料をばらまき、土を削りながら株元に土寄せします。
収穫	頭の部分を押さえてみて、球が硬く締まっているようなら収穫時期です。球を少し斜めに押し倒し、外葉との間に包丁を入れて切り取ります。 収穫せずに畑に置いておく場合や、収穫が1月になる場合は、寒さが厳しくなる前（12月頃）に、球を外葉で包んで上部をヒモで縛っておくと、雪や霜の寒さからハクサイを守ることができます。 外葉を縛る前には、内葉の中にアブラムシ等がいないか、確認しましょう（そのまま縛るとアブラムシの住み家になってしまいます!）。

＜参考＞

ミニ品種	作期が短いので、追肥は不要です。定植は、条間25㌢、株間20～25㌢程度で行いますので、普通の品種に比べ苗本数が多くなります。収穫は、品種により異なりますが、結球始めの玉重800㌘くらいから収穫ができ、1.2㌔程度まで収穫ができます。

その他、家庭菜園に関する相談は、JAの支店または営農経済センターまでご連絡ください。